

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月18日

団体名 おかざき湿地保護の会

代表者 鈴木 好則

構成員 38 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

市内の湿地を岡崎市の歴史的な自然遺産として後世に継承するとともに、自然環境の重要性と自然体験から学ぶ環境教育の必要性を啓発し、自然保護活動者の参加促進と市民との交流を深める。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R6.5.4	小呂湿地 (小呂町)	岡崎北高校 小呂湿地	18 名	学生と協働で保全作業を実施
R6.6.15	北山湿地 (池金町)	岡崎高校 SSH 部 北山湿地	15 名	学生と協働で保全作業を実施
R6.7.20	北山湿地 (池金町)	東海中学校自然科学部 北山湿地	20 名	学生と協働で保全作業を実施
R6.11.17	北山湿地 (池金町)	岡崎高校 SSH 部 北山湿地	10 名	学生と協働で保全作業を実施

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

被圧植物の刈り取りや、湿地を踏み荒らさないための木道整備などの作業を実施することで、北山湿地や小呂湿地に生息する湿地固有の動植物の保全・保護をすることができた。また、地元の学生と協同で作業を実施することで、生物多様性保全への意識を高めることができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

市民の財産である北山湿地及び小呂湿地の保全、活用をめざし活動しており公共性は高いと考える。両湿地はその環境の希少性が認められ、愛知県の天然記念物にされている。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。